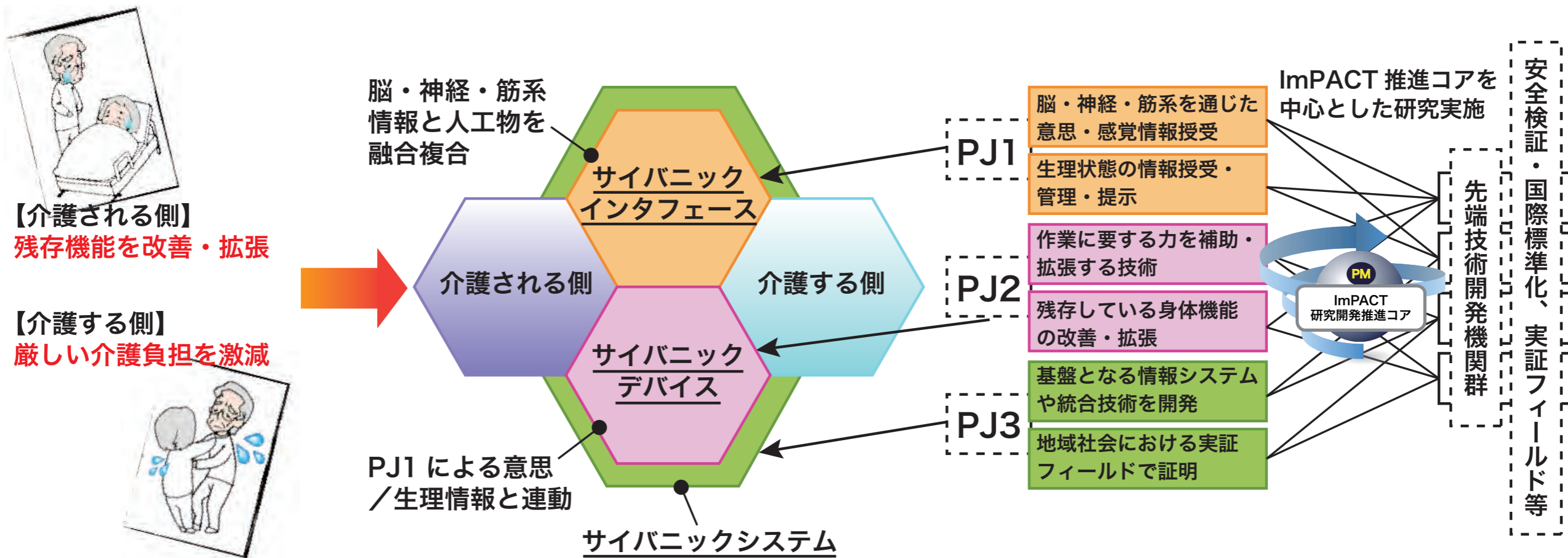


研究開発プログラム実施構成（その1）

PMが作り込んだ研究開発プログラムの全体構成



達成目標（プログラム終了時の具体的アウトプット）

「重介護ゼロ」を実現する当該プログラムの具体的アウトプットとして、

- ・ 移動／排泄／生理管理系の支援により、全介助が一部介助（部分介助）へ改善されること
- ・ 要介護者の自立度（新たな介護度評価）が向上し、さらに介護者の負担（介助度評価）が改善されること
- ・ 重介護ゼロが地域社会で実現できることを複数の異なる実証フィールドで証明すること
- ・ サイバニクインタフェース・デバイス・システムを研究開発するとともに、国際規格に準拠させること
- ・ CEJ (Cybernetics Excellence Japan)に向けた参画機関との連携を進め、産業変革・社会変革に繋がる新産業創出連携体を形成し、実際の組織として設立すること
- ・ 連携型イノベーションプラットフォームとして行動モデルを提案し実践すること

研究開発プログラム実施構成（その2）

重介護ゼロ社会へ向けて

PJ1: サイバニックインタフェース研究開発

課題1: 介護される側（要介護者）、および、介護する側による移動／排泄／生理管理系の支援のため脳・神経・筋系情報を身体の末梢で入出力処理し、単独またはサイバニックデバイスと連動して機能するインタフェースの研究開発を行う

複数の実証フィールド
(病院施設やロボケアなど連携機関・地方自治体他)

安全認証・国際標準化
(AIST・地方自治体他)

先端技術開発機関群

PM
ImPACT
研究開発推進コア

PJ3: サイバニックシステム研究開発

課題3: サイバニックインタフェースと連動して複数のサイバニックデバイスを機能させるシステム化研究開発を行う（ICTとRTの基盤情報システムや統合技術の研究開発、生活支援インフラプラットフォーム化の推進、重介護ゼロが地域社会で実現できることを複数の異なる実フィールドで実証することを含む）

PJ2: サイバニックデバイス研究開発

課題2: 介護される側（要介護者）、および、介護する側による移動／排泄／生理管理系の支援のため、サイバニックインタフェースと連動または単独で機能する種々のデバイスであり、また、人の残存する能力を改善・拡張・増幅・補助するデバイスであるサイバニックデバイスの研究開発を行う

【介護する側】
厳しい介護負担を激減

【介護される側】
残存機能を改善・拡張

過酷な現状！

重介護ゼロ社会へ！

重介護ゼロ社会へ！

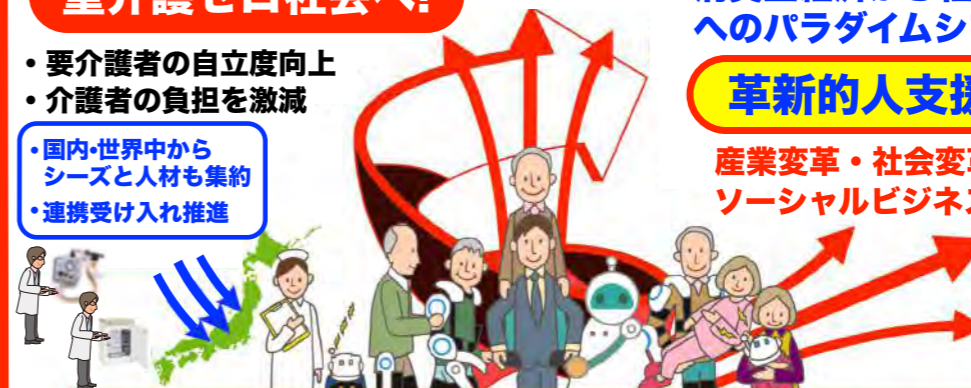
- ・要介護者の自立度向上
- ・介護者の負担を激減

- ・国内・世界中からシーズと人材も集約
- ・連携受け入れ推進

消費型経済から社会課題解決型経済へのパラダイムシフト

革新的人支援産業の創出！

産業変革・社会変革：
ソーシャルビジネスによる経済サイクル



革新技术研究開発・国際認証／実証・新市場開拓から人材育成までの一体的推進

イノベーションのスパイラルアップ

各克服すべき課題の実施機関

	H27	H28	H29	H30
PJ1(課題1)	●	●	●	●
PJ2(課題2)	●	●	●	●
●				
PJ3(課題3)	●	●	●	●